

発達心理学

(2 単位)

専門 > 教育学部（全入学年度対象） > 基礎理解に関する科目等

1 年、2 年、3 年、4 年 後期

週間授業

大西 将史 (mohnishi@u-fukui.ac.jp)

■ナンバリングコード

05-TTB-302 教育学部 学校教育課程 / 教職科目 教育の基礎理論 [1 年次レベル]

■授業概要

発達とは何か、生涯を通して発達するとはどういうことか、発達と教育の関連性とは、などのキーワードを中心に人間の生涯にわたる発達について講義する。

■到達目標

人間の発達を生涯発達の視点から捉え、乳幼児から老年期にいたるまでの身体・社会・心理的発達の概要について学習し、人間発達に関する理解を深めることを目標とする。

■授業内容

第 1 回 発達の捉え方 1（発達とはどのような現象か、発達の類似概念、発達段階）

第 2 回 発達の捉え方 2（発達の特徴、進化の産物としてのヒトの発達、社会や文化の産物としての発達）

第 3 回 発達の原理（遺伝、環境、遺伝と環境の相互作用）

第 4 回 対人活動の発達 1（乳児期）

第 5 回 対人活動の発達 2（幼児期と児童期）

第 6 回 認知活動の発達 1（乳児期）

第 7 回 認知活動の発達 2（幼児期）

第 8 回 認知活動の発達 3（青年期）

第 9 回 言語活動の発達 1（乳児期から幼児期前半）

第 10 回 言語活動の発達 2（幼児期後半から児童期）

第 11 回 青年期の発達（自己の発達、アイデンティティの形成、対人関係の発達）

第 12 回 成人期の発達（青年期から成人期へ、人生の進路選択、中年期の心理、ジェネラティビティ）

第 13 回 老年期の発達（老いと発達、人生の意味づけ、ライフレビュー）

第 14 回 生涯発達の今日的課題 1（児童虐待と教育における虐待的かわり）

第 15 回 生涯発達の今日的課題 2（教育における虐待的かわりをもたらす心理社会的背景）

■準備学習（予習・復習）等

予習（2 時間程度）：各回の授業資料（pdf）を Google Classroom に掲示するので、授業前に一読しておくこと。分からない用語については調べておくこと。

復習（2 時間程度）：前回の授業で扱った内容について配布資料・ノートを見直した上で課題（振り返り課題）に回答すること。

■授業形式

【授業形式】

講義

google classroom を用いた対面形式を基本としつつ、一部映像資料も用いたハイブリッド形式で行う。

毎回の講義ごとにパワーポイントによるスライドを用いた資料とその pdf 資料、google form を用いた課題を提示する。

受講生には、課題→講義→振り返り課題といった順番で授業に取り組んでもらう。振り返り課題には、講義で扱った内容に対する疑問点があれば書いてもらい、授業者がそれに対するフィードバックを行う。

■成績評価の方法

毎回の授業ごとに 3 回程度 google form を用いた課題に回答してもらう。課題への取り組み状況（期限内の提出、回答の内容）をもって成績評価を行う。

■教科書・参考書等

教科書：使用しない。授業毎に資料を配布する。

参考書：岡本夏木 (1991). 児童心理 岩波書店

その他の参考文献は授業毎に提示する。

■その他注意事項等

毎回の課題は 1 週間以内で回答をするようにしてください。

■アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニングの要素を含む科目

■授業形態

対面・オンライン併用授業ーオンデマンド（録画配信型）